



# HANA 奥武蔵の花

施設隣接型小中一貫校 奥武蔵創造学園

飯能市立奥武蔵中学校  
学校だより 第9号

令和4年12月1日  
校長 安田 孝之

## 「なぜ？」の大切さを問う

師走を迎え、年の瀬の慌ただしさとともに、月日の早さが実感させられます。期末試験を終えて、今月は2学期を振り返るとともに学年のまとめとして3学期を迎える準備を整える時期です。怠りなく過ごしてもらいたいものです。

さて、市内の学校では「学びあい」として協同的な学びの授業への転換が行われています。簡単に言うと、今日では創造的な思考や探究的な学習を行うことが求められており、その実践の積み重ねが様々な形で行われています。これは、従来の指導を否定するものではなく、学習者がより主体的に授業に取り組むことを目指し、学びを深めることと私は捉えています。言うなれば、先生の教えることを鵜呑みにするだけでなく「なぜ？」というキーワードを自身で発信してその答えを探っていくところに大きな意義があると思います。例えば、漢字の学習を例に挙げても「その漢字の読みが、どうしてこうなるのだろう」とか、数学や理科で「なぜ、この数値となるんだろう」と考えることです。「なぜ？」という姿勢がないと、今後の生活の中で簡単に騙されることもあると思います。目の前のことを、ただ漫然と目に入れて鵜呑みにしない。「なぜだろう」ということを考えてより深く理解しようとする。そういうアプローチこそが、大切なことなのではないでしょうか。



### HANAことば

過日、旧東吾野小学校に開校した「わせがく夢育高等学校」の文化祭へお邪魔しました。中学校の頃には様々な理由で登校や勉強に不安を感じながらも、今日では自己実現に向けて自信を持って活動している彼ら彼女らの姿に勇気をもらいました。社会で自立できる個人を育成する建学の精神は、本校に通じるところがあります。

みんな、がんばれ！！

これを言い換えたら「好奇心」とか「批判的思考力」と言うのかもしれませんが。どんなことでも「考える」ということから目を逸らさない。どんな物事でも、「どうでもいい」と流さないでいることが必要なのです。

それを証明するかのように、最近の入試問題では「なぜ？」という問いが多くなっているようです。また、大人の面接等でもある程度の前提を示しつつも覚えていることを求めることが極めて少なくなりました。

普段の生活でぶつかる疑問の答えをそのままにしない。調べて、考える習慣を持つことが大切なのです。